

読書のすすめ

昔から、秋についていろいろ言われてきました。厳しい冬を前にして、人々は秋を満喫したのでしょう。秋は楽しいことが多いように思います。

「スポーツの秋」。体を動かして快い汗を流すのは健康的です。家族そろって、ハイキングにでも行きたくなります。

「芸術の秋」なので、絵を描いたり、音楽を聞いたりもいいでしょう。リフレッシュできます。

収穫の秋でもあります。取れたものをおいしくいただける秋。まさに「天高く馬肥ゆる秋」「食欲の秋」でもあります。

そして、「読書の秋」でもあるのです。

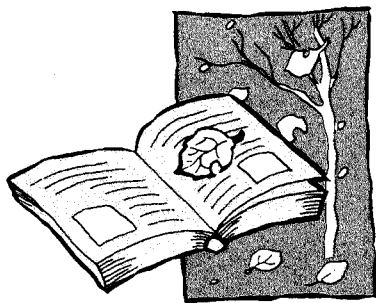
「秋の日はつるべ落とし」と言うように、日暮れが早い。まさに秋の夜長です。この秋の夜長を、鳴きとおすのはスズムシやマツムシ。

さて、我々人間は、この秋の夜長をどう過ごしたらよいのでしょうか。もちろん、読書をおすすめします。今の子どもたちは体験不足。ナイフさえうまく使えない、などと言われ、体験重視が叫ばれてきました。確かに我々は、体験から学ぶことが多いでしょう。

でも、読書ができるようになれば、本から学ぶこともできます。

す。読書によっても体験ができます。自分が主人公になったつもりで、夢中になってしまうこともあるでしょう。

本からは単なる知識だけでなく、ものの考え方や人の生き方まで学ぶことができます。「この本によって私は変わった」なんて言う人もいるくらいですもの。「読書は心



の糧である」と言われる訳です。

さあ、秋の夜長に本をひもときましょう。「やあ！ 本っていいものですねえ」とは言っても、ただずわってテレビと向き合っている方が多いです。読書は、「自分からする」という意志がなければ、一ページも進みません。読書は能動的行為なのです。

そこでいろんな手を考えてみたものです。小さい子には読み聞かせ。目を

輝かせて聞くでしょう。親子読書。親子でいっしょに同じ本を読み感想を話し合う、なんてことはすばらしいことです。何かに興味を持った（趣味）それに関する本を読む、ということもあるでしょう。

コミック（漫画）だって今では立派なジャンルとなっています。ミステリーの本が好きという子どももいるでしょう。

次にも同じ作者の本を読みたくなり、次々に同一作者の本を読み進めることもあるでしょう。雑誌だって、新聞だって読書です。たとえ十分でも、読書タイムを家庭内に設定することもできましよう。市立図書館や近所の一坪図書館の利用も促したいものです。

何といっても、子どもたちに読書の楽しさを味あわせてやりたいものです。相手の心にフィットする本を与える機会をとらえることは難しいですけど……。

最後に、話変わって、好きな詩を紹介し、「子どもというかけがえのない本」を読むことも、おすすめします。

子どもは一冊の本である

（作者不明）

子どもは一冊の本であるその本からわれわれは何かを読みとりその本にわれわれは何かを書きこんでいかなければならない

能力開発講座

●パソコン講座・表計算ソフト

初級1回目

日程 12月2・3・5・6・9日
10・12・13日
午後6時～8時50分

定員 20人

受講料 2000円

受付期間 開講日の7日前まで、ただし定員になれば締め切ります。

問合先 県立都留能力開発センター
☎(43)8911
FAX(43)8912

富士女性センター
からおしらせ

生活・文化講座

暮らしに役立つマナー&コミュニケーションシリーズ

3回シリーズ

第1回 12月8日 対象男女60名

『感動あるコミュニケーションを求めて』

第2回 1月19日 対象男女20名

『知って得る日常のマナー①』

第3回 2月16日 対象男女20名

『知って得る日常のマナー②』

講師 コミュニケーション・アーツ・アカデミー主宰
元YBSアナウンサー

一回目は講義、二・三回目は実習です。二・三回目は、応募者が多数の場合抽選となります。

（前回受講者優先）
場所 富士女性センター
大会議室（二回目）

茶華道室（二・三回目）

時間 午後1時30分～3時30分

※お申し込みは、電話またはFAXかはがきで。託児を希望される方は申し込み時に相談ください。なお、対象は未就学児です。

問合先 富士女性センター
☎(45)1666
FAX(45)1663

都留文科大合唱団
第31回定期演奏会

日時 12月1日

開場 午後1時30分
開演 午後2時

場所 文化ホール（うぐいすホール）大ホール

入場料 無料

問合先 団長 伊藤暖

☎(45)3946

『八朔inつる'96』のお礼

去る9月1日、谷一小にて行いました『八朔inつる'96』は、市民の皆さんと市当局の御協力により、無事盛況のうちに終えることができました。改めて御礼を申し上げるとともに、来年の取り組みに向けて、幅広い御意見・御要望をお待ちしています。

実行委員長 藤本忠志 ☎(45)1450